

会		議	記	録
会議の名称	予算特別委員会			会議場所 全員協議会室
				担当職員 阿久根由美子
日 時	平成 26 年 3 月 17 日（月曜日）		開 議	午前 10 時 00 分
			閉 議	午前 10 時 26 分
出席委員	藤本 ○中村 苗村 中村 眞継 田中 馬場 中澤 石野 堤 竹田 木曾 <明田議長 小島副議長>			
執行機関出席者				
事務局出席者	今西局長 藤村次長 阿久根副課長 坂田主任 三宅主任			
傍聴	市民 0 名	報道関係者 1 名	議員 1 名（福井）	

会 議 の 概 要

〔藤本委員長 開議〕

〔事務局 日程説明〕

10 : 00

< 藤本委員長 >

今までの審査から市長質疑項目を別紙のとおりまとめた。確認を行う。

1 セーフコミュニティ

< 中澤委員 >

I S S 再認証の質疑に対して政策推進室と教育部の答弁に違いがあった。

< 藤本委員長 >

項目はこのままで認証の必要性を問うことで整理する。―了―

< 苗村委員 >

この事業による保育所、学校現場での職員の負担を聞きたい。

< 藤本委員長 >

疑義あれば再質疑されたい。

2 企画推進経費 ～ 3 会館運営経費・公民館運営経費 - 了-

4 文化センター・児童館

< 酒井委員 >

総務文教常任委員会でも問題になったが、特定団体（NPO法人人権交流センター）との不適切な関係は整理できたか。運営の内容が整理できているのか聞きたい。

<堤委員>

再質疑すればよい。 —了—

5 電算管理業務 ～ 9 放課後児童対策経費 —了—

10 大規模スポーツ施設整備

<馬場委員>

都市公園法運用指針では、敷地面積に対する公園整備面積の許容割合は100分の2とされている。本事業は整合しているのか。

<藤本委員長>

に追加する。 —了—

<酒井委員>

スタジアム用地は府に貸し出すので、普通財産になるではないか。普通財産なら公園でなくなる。公園の都市計画決定との整合を項目に含めてもらいたい。

京都府の都市マスにも掲載がない、その整合性を聞きたい。緑の基本計画についても聞きたい。

市長マニフェストで桂川右岸は農地としてほ場整備を進めるとされている。整合性を聞きたい。

経済波及効果の前提条件に大きな誤りがあったので指摘し取り扱いを聞きたい。調べた資料を提出したい。

<藤本委員長>

再質疑とされたい。資料の内容を説明願う。

<酒井委員>

経済波及効果は前提条件が重要である。坂本先生は、1試合の入場料2,500円について数字がないと計算できないからとりあえずそうしたとのことであった。入場料はJリーグ全体で1,263円であり大きな違いになる。また、J

2 に所属している前提で厳しく計測したとのことであったが、観客数平均 9,064 人の元のデータは J 1 のときも J 2 のときも足してあった。J 2 の間の平均は 7,800 人である。年間 22 試合とされていたが、11 年間の平均は 19 試合である。今のデータで計算すると年間消費総額が 4 億円も違う。この経済波及効果を市はどう取り扱うのか聞いておきたい。審査の資料には使えない。

< 藤本委員長 >

執行部には資料を渡しておき、再質疑で出されたい。

< 中澤委員 >

坂本先生に確認が要と思う。

< 馬場委員 >

市が資料を出している。答えられないことはない。

< 酒井委員 >

前提の数字で違いがあり、市に取り扱いを聞くものである。

< 堤委員 >

市長質疑は市長に政治的判断すべきを質すもの。市長質疑としてはおかしいと思う。

< 田中委員 >

市が発表するときには、坂本先生の報告を検証せず語ることもあるので、いま取り扱いを聞くことは重要だと思う。

< 事務局長 >

坂本先生の報告は全員協議会で行われた。すでに項目の中に数値も入れているので、疑義ある内容を執行部に伝えておいてはどうか。

< 馬場委員 >

前提条件の数値に相違があると議会が指摘している。その見解を問うもの。

< 堤委員 >

議会の指摘にどうするかは市が判断するもの。項目の追加はしなくてよい。直接坂本先生に聞けばよい。

< 酒井委員 >

坂本先生がこの数値は根拠がないと言われたので探したまでのこと。その結

果を先生に聞かなくても市長にどう取り扱うか聞けばよい。質疑したくない理由が分からない。何かあるならはっきり言ってもらいたい。

< 藤本委員長 >

資料を執行部に提出して、答弁を求めたい。―了―

1 0 : 2 6